

古川消防署田尻分署庁舎が完成しました。



北側外観



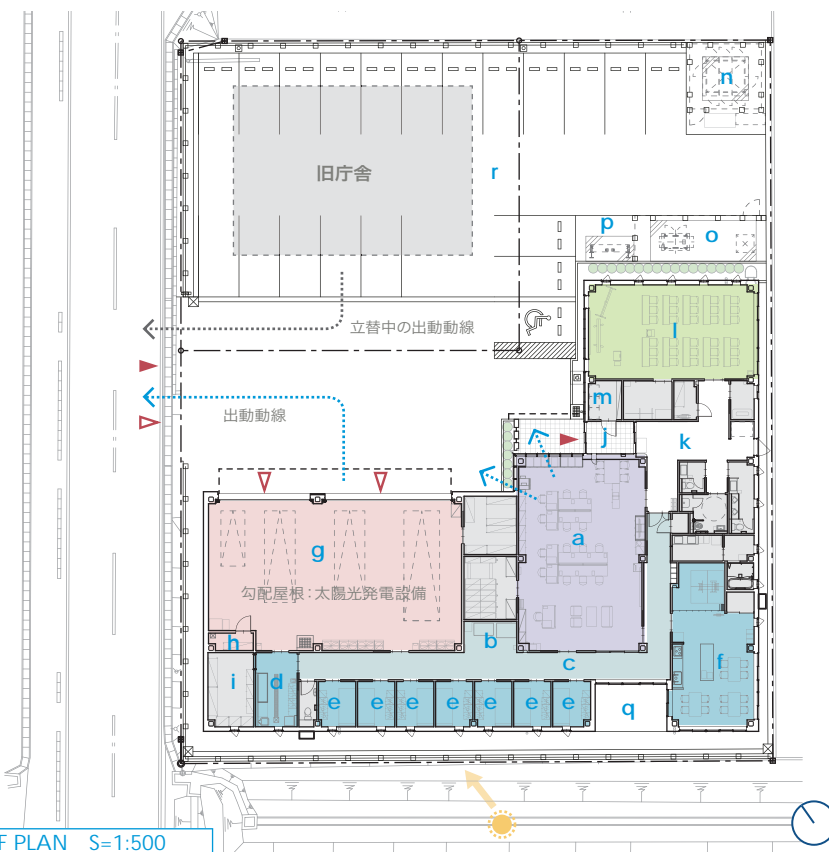
出動廊下・事務室



研修室

PLAN

- | | | | |
|-----------|----------------|--------------|-----------|
| a. 事務室 | f. 食堂・トレーニングSP | k. 一般廊下・広報SP | p. ホース乾燥塔 |
| b. 出動待機SP | g. 消防車両車庫 | l. 研修室 | q. テラス |
| c. 出動廊下 | h. 油庫 | m. 蓄電池室 | r. 駐車場 |
| d. 消毒洗浄室 | i. 備品庫 | n. 受変電設備 | ▶ 出入口 |
| e. 仮眠室 | j. 主出入口・風除室 | o. 非常用発電設備 | ▶ 出入口：車両 |



1F PLAN S=1:500

写真：GlassEye Inc.

CONCEPT

旧庁舎を利用しながら、合理的な立替計画が可能な建物配置

築40年を経過した消防庁舎出張所の建替え計画である。建替用地は旧庁舎の駐車場兼資材スペースを利用した成形の用地であるが、既存庁舎の運用に支障がなく立替が可能が計画が求められました。

平面計画においては、接地性の高い平屋建ての計画とし、施設の中心となる事務室を中心として、2つのエリアを両翼に抱えた施設構成としています。

一般開放エリアとなり、地域住民の研修等に利用されることを想定した研修室を北東側へ配置し、消防署エリアを主要道路となる南西側に配置し、出動動線の縮小化を図った平面計画としています。

地域の安全を見守る消防分署として職員の実務エリアとなる事務室を中心とすることで、敷地内外の安全の監視を行える室構成とし、南側を食堂・仮眠室と言った居住エリアを配置することで、安全・安心・快適性を合理的に配置した建物構成としています。

DATA

敷地面積	: 1,611.87㎡
建築面積	: 4,443.90㎡
延床面積	: 641.56㎡
建ぺい率	: 52.78%
容積率	: 41.29%
構造・規模	: S造 地上1階、杭基礎
最高高さ	: 7.35m
軒高	: 7.02m
階高	: 3.6m
天井高さ	: 2.70m、2.40m
主なスパン	: 6.0m×4.7m 5.5m×7.5m
設計期間	: 2013.11～2014.02
工事期間	: 2014.06～2015.03

TOPICS

方位特性を生かした屋根形状と太陽光発電設備

消防車両車庫の比較的高さが高くなる部分の屋根を利用して、南側に下る勾配屋根を設けます。発電効率を考慮した屋根勾配にすると共に、下地一体型の屋根材により、架台を設置せずとも、合理的に太陽光発電設備の設置が可能な建物形状としています。



南側外観・太陽光発電設備

▶ <http://www.nissoken.co.jp>